



# わかば

ホームページ <http://www.shokookai.org/gakkou.htm> 毎週火曜日更新

## 緊急時、悪天候時等における学校の対応！

昨年はこの時期、強風による下校時刻の繰り上げがありました。その際、初めて学級連絡網を活用する学級もあり、一部にすぐに連絡のつかない場面もみられました。この機会に再度以下の事項と学級連絡網をご確認ください、円滑な連絡網の使用にご協力下さいますようお願いいたします。また、携帯電話をお持ちの方で学校に知らせていない場合、ならびに電話番号を変更された場合は、事務局までお知らせください。

### ○臨時休校する場合

- ◀ 前 日 ▶ \*前日に休校が決定した場合は、その時点で連絡致します。
- \*出来る限り一斉メール送信をします。(事務局から連絡できない場合は学級連絡網)
- \*学校のホームページにも掲載します。必要に応じてご確認ください。
- ◀ 当 日 : 朝6時30分~7時30分の間 ▶
- \*学級連絡網を通じて、各家庭に休校の連絡を致します。
- \*当日の朝7時30分までに連絡がない場合は、平常通りに学校があります。
- \*学校のホームページにも掲載しますので、必要に応じてご確認ください。

(注意): 通学地域は広範囲に及んでおり、地域により状況に違いが生じます。そのため、開校していてもルートによってはスクールバスが運休する場合があります。各自でバスストップまで行き確認して下さい。運休時の登校につきましては、ご家庭の判断に委ねます。



### ○早めの下校(天候の急変等への対応)が必要と判断する場合

- \*学級連絡網を通じて、時間を繰り上げてのお迎えをお願い致します。
- \*保護者が迎えに来るまで、子ども達は教室で待機させます。直接各教室に行き、担任の確認を受けて下さい。
- \*迎えが困難で、他の方にお迎えを依頼する場合は、必ず学校に連絡して下さい。



### 学級連絡網の活用方法

※この連絡体制は、他の場合も同様です。

- ①<<連絡を受けたら>>、<<至急次の方に連絡>> をして下さい。
- ②相手が<<不在の場合>>(留守番電話の時を含む)は、<<その次の方に連絡>> をして下さい。  
※不在の人には、何度か連絡を試みて下さい。  
※留守番電話のメッセージを聞かれた方は、メッセージを残した方にその旨連絡して下さい。  
※最終的に連絡がとれない場合は、担任までその旨をご連絡下さい。
- ③<<最後の家庭>>は、連絡を受けたことを<<担任まで連絡>>して下さい。

### ◎お願い

※緊急時はもちろん、日頃より、登校日にはいつでも学校から確実に連絡がとれるようにしておいて下さい。



**緊急連絡!**

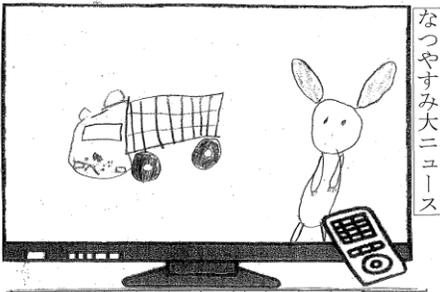
※10月~12月分授業料の請求書を送付いたしました。Eメールが届いていない方は事務局までご連絡下さい。

# 児童生徒の作品より

1年3組 染川 季穂

3年1組 レノツ 明

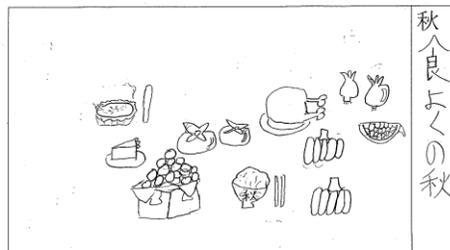
3年1組 東 香蓮



なつやすみ大ニュース

す	と	ん	わ	に	た	い	わ	ハ
ア	カ	カ	カ	え	り	ア	ア	ガ
も	わ	ン	ト	さ	わ	パ	ア	マ
た	い	ガ	リ	ヤ	ハ	ク	ズ	シ
の	シ	ハ	リ	マ	ハ	ヘ	オ	ハ
か	た	が	し	し	ゴ	イ	ガ	レ
た	ず	イ	チ	リ	バ	マ	サ	ン
ア	。	バ	シ	ヤ	ツ	フ	ニ	。

バザー



秋 人良よくの秋

名前 山領乃都明  
ぼくは、人良よくの秋にした  
いと、思ひ、いま、ヤ、ク、ク、  
南、ち、や、七、め、ん、ち、よ、う、ご、は、ん  
＊が、き、お、ま、ん、じ、ゅう、え、ア  
ツ、フル、パイ、が、お、い、し、く  
人、良、べ、ん、ら、る、る、か、ら、で  
す。

2年1組

中村悠真



秋 早おきの秋

名前 東香蓮  
わたしは、早おきの秋にしたいで  
す。理由は、おそくおまき、う、て  
学校に着く時間がいつてもぎ  
りぎりだからです。ほか  
の理由は、すきな本を読む  
時間もできるからです。  
わたしは、早くおまきの  
をがんばります。

九月十六日にぼくは、ぼくの友だちのいさくんと行きました。

ぼくは、一ばんはじめにコロコロを買いに行こうとしましたが、あまりにもぎょうれつだったのでやめて、。かきごおりとわたあめを買いました。

ぼくは、そのあといさくんとちょっときゆうけいしました。いさく人は、ぼくに「ちょっとなにか買ってくる。」と言いましたので、ぼくがいさく人が買ったものを見まもりました。とてもたのしかったです。

## 生物が記録する科学—バイオリギングの可能性について

中学部2年1組

沖

啓太

僕は「生物が記録する科学—バイオリギングの可能性」を読んで、こういった独創的な方法で、生物の生態を調査出来る事はすごいと思った。

本文の中では、ペンギンに小型の記録計を付けるというユニークな方法で彼らの生態を記録し調べていた。この方法では、調べる側の人間ではなく、調べられる側の動物自身がデータを集めるため、動物の視点で映像も撮る事が出来、さらに、人間が普段観察するのが難しい水中の様子も調べられる。今までは、ペンギンの最大潜水深度は564m、最大潜水時間は20分以上という記録が残っていたため、ペンギンは深く、長時間潜ると考えられてきた。しかし、実際にはペンギンはそれほど深く潜らず短時間で餌を取っていた。この事から野生動物にとっては常に能力を最大限に発揮することではなく、効率よく餌を捕る事が重要であることが分かった。

この作品を読み僕は、クマムシの実験についてを思い出した。クマムシは、乾燥すると仮死状態になり、高温や極低温、真空などの環境にも耐えられる生物である。そんなクマムシも大学のチームによって卵の状態でも厳しい空間を耐える事が分かった。これもまた、最新の科学によって生物の生態が新たに分かった例である。この調査によると、クマムシの卵は80度の高温、氷点下196度の極低温、2000グレイの高い放射線量でも孵化することが確認された。また、クマムシが乾燥状態で生き延びた最長期間は9年で、卵の状態を確認された。

最近の研究によって、人間はより多くの生物の生態を知る機会が増えた。人間は、自分が見たり、経験したりできる範囲だけで動物を知ったつもりになっていたが、地球には人間の知らないことがまだまだあると最新の研究は教えてくれた。